

2019年度

学校法人トラベルジャーナル学園

事業報告書

## 1. 法人の概要

### (1) 建学の精神

#### ○学園理念

本学園は、基本理念を「ホスピタリティ」に置きグローバルな教育サービス事業の展開を通じて地球社会の平和と繁栄に寄与します。

#### ○教育目標

##### 1. 相手の立場に立って考え行動できるホスピタリティ教育

「相手の立場に立って考え行動できる」資質、能力を、学校生活全般、講義、演習、実習、研修旅行、各種行事を通じて身に付ける。

##### 2. 職業現場で活躍できる職業実務実践教育

職業現場で活躍できる能力、健全な職業観、専門知識及び技能を、企業等との連携を通して習得する。

##### 3. 生涯にわたって、教養を高めて、自己啓発ができる動機づけ教育

時代、環境の変化に適応し雇用され続けるために、生涯にわたり自ら学ぶ姿勢を習得する。

##### 4. 地域社会、国際社会で役割を果たせるグローバルな教育

環境や価値観の異なる人たちと相互理解にいたる能力を身につけ、ホスピタリティ産業全体の発展に貢献できる人材となる。

### (2) 学校法人の沿革

1973年 トラベルジャーナル旅行学院開校

1975年 (一社)日本旅行業協会(JATA)推薦校となる

1977年 (一社)全国旅行業協会(ANTA)推薦校となる

1980年 東京都より学校法人、専修学校として認可され、  
トラベルジャーナル旅行専門学校と校名を改める

1981年 大阪トラベルジャーナル旅行学院開校  
太平洋アジア観光協会(PATA)日本支部推薦校となる

1982年 在日外国観光局協議会(ANTOR-JAPAN)推薦校となる

1986年 大阪府より専修学校として認可され、  
大阪トラベルジャーナル旅行専門学校と校名を改める  
アメリカにシアトル校開校

1990年 夜間部旅行本科開設

1991年 (一社)日本海外ツアーオペレーター協会(OTOA)推薦校となる  
海外ホテル協会(OHEA)推薦校となる

1992年 オーストラリアにメルボルン校開校

1994年 大阪校、トラジャル旅行ホテル専門学校に校名変更

2001年 東京日本語文化学校開校  
(公社)日本ブライダル文化振興協会(BIA)推薦校となる

2002年 (一社)日本添乗サービス協会(TCSA)推薦校となる

- 2007年 学校法人トラベルジャーナル学園に法人名変更  
 ホスピタリティ ツーリズム専門学校に校名変更  
 ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪に校名変更
- 2011年 大阪ブライダル専門学校開校
- 2012年 オーストラリアのメルボルン校閉校
- 2013年 東京ブライダル専門学校開校  
 東京日本語文化学校閉校
- 2018年 大阪ホテル専門学校開校  
 大阪テーマパーク・ダンス専門学校開校
- 2019年 台湾に台北校開校

(3) 設置する学校・学科等

設置する学校	開校年月	学科等	摘要
ホスピタリティ ツーリズム 専門学校	1980年4月 (2007年4月 学校名変更)	観光科 ホテル テーマパーク科 英語コミュニケーション科 エアライン科 鉄道科	
東京ブライダル 専門学校	2013年4月	ブライダル科	
ホスピタリティ ツーリズム 専門学校大阪	1986年4月 (2007年4月 学校名変更)	観光学科	
大阪ブライダル 専門学校	2011年4月	ブライダル学科	
大阪ホテル 専門学校	2018年4月	ホテル学科	
大阪テーマパーク ・ダンス専門学校	2018年4月	テーマパーク学科	

(4) 学校・学科等の学生数の状況 (2019年5月1日現在) (単位：人)

学校名・学科名		入学定員数	収容定員数	現員数	摘要
ホスピタリティ ツーリズム 専門学校	<昼間部>	40	80	1年	50
	観光科			2年	36
				小計	86

	ホテル科	60	100	1年	58	
				2年	41	
				小計	99	
	テーマパーク科	60	100	1年	64	
				2年	45	
				小計	109	
	英語コミュニケーション科	20	60	1年	18	
				2年	14	
				小計	32	
	エアライン科	60	120	1年	91	
				2年	67	
				小計	158	
	鉄道科	40	80	1年	38	
				2年	48	
				小計	86	
	昼間部小計	280	540	1年	319	
				2年	251	
				小計	570	
	<夜間部> 観光科	30	60	1年	8	
				2年	11	
				小計	19	
	ホテル科	30	30	1年	19	
				2年	15	
				小計	34	
	テーマパーク科	30	30	1年	14	
				2年	18	
				小計	32	
	エアライン科	30	60	1年	7	
				2年	10	
				小計	17	
	夜間部小計	120	240	1年	48	
				2年	54	
				小計	102	
東京ブライダル 専門学校	<昼間部> ブライダル科	120	240	1年	120	
				2年	103	
				小計	223	
	<夜間部> ブライダル科	60	120	1年	22	
				2年	17	
				小計	39	

ホスピタリティ ツーリズム 専門学校大阪	<昼間部> 観光学科	110	220	1年	87	
				2年	71	
				小計	158	
	<夜間部> 観光学科	80	160	1年	30	
				2年	44	
				小計	74	
大阪ブライダル 専門学校	<昼間部> ブライダル学科	120	240	1年	55	
				2年	60	
				小計	115	
	<夜間部> ブライダル学科	100	200	1年	34	
				2年	35	
				小計	69	
大阪ホテル 専門学校	<昼間部> ホテル学科	80	160	1年	116	
				2年	93	
				小計	209	
	<夜間部> ホテル学科	80	160	1年	45	
				2年	40	
				小計	85	
大阪テーマパーク・ ダンス専門学校	<昼間部> テーマパーク学科	60	120	1年	72	
				2年	53	
				小計	125	
	<夜間部> テーマパーク学科	60	120	1年	32	
				2年	35	
				小計	67	
アメリカ・台湾 留学中	東京	—	—		46	
	大阪	—	—		87	
設置校 総合計				1年	980	
				2年	856	
				留学中	133	
				合計	1,969	

## 2. 事業の概要

### (1) 施設等の状況

①主な施設設備の状況は次のとおりである。

#### 【校地】

施設等	所在地	面積	帳簿価額	備考
東京校A館敷地	東京都中野区東中野 3-18-11	871.00 m <sup>2</sup>	2,219,981,250 円	
東京校B館敷地	東京都中野区東中野 3-17-11	293.64 m <sup>2</sup>	993,729,750 円	
大阪校1号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-6-29	565.12 m <sup>2</sup>	1,431,803,000 円	
大阪校2号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-1-24	397.65 m <sup>2</sup>	1,434,105,000 円	
大阪校3号館敷地	大阪府大阪市西区江戸堀 2-1-25	463.07 m <sup>2</sup>	262,049,529 円	
黒磯敷地	栃木県黒磯市青木字大輪地原	3,279.00 m <sup>2</sup>	29,320,000 円	
湯河原敷地	静岡県熱海市泉元門川分 88-3-417	56.65 m <sup>2</sup>	4,158,256 円	
合計		5,926.13 m <sup>2</sup>	6,375,146,785 円	

#### 【校舎】

施設等	面積	帳簿価額	備考
東京校A館	3,994.75 m <sup>2</sup>	1,445,975,232 円	
東京校B館	1,149.58 m <sup>2</sup>	484,643,229 円	
大阪校1号館	3,063.63 m <sup>2</sup>	1,178,033,850 円	
大阪校2号館	2,520.04 m <sup>2</sup>	589,556,505 円	
大阪校3号館	2,894.79 m <sup>2</sup>	473,908,386 円	
湯河原 構築物	76.76 m <sup>2</sup>	28,761,447 円 6,388,690 円	
合計	13,699.55 m <sup>2</sup>	4,207,267,339 円	

②主な施設設備の取得及びその進捗状況

ホスピタリティツーリズム専門学校外壁工事

### 3. 財務の概要

#### (1) 決算の概要

##### ① 事業活動収支計算書の状況

事業活動収入計は28億8,154万円、予算比で2,469万円増加し、事業活動支出は25億3,483万円、予算比で3,360円増加しました。その結果、基本金組入前当年度収支差額は3億4,671万円、予算比で891万円の減少となりました。

##### 《教育活動収支》

教育活動収入は27億7,144万円、予算比で3,296万円増加し、教育活動支出は25億2,918万円、予算比で2,795万円増加しました。その結果、教育活動収支差額は2億4,226万円、予算比で501万円増加しました。主な内訳は以下の通りです。

- 1) 学生生徒納付金は、入学者数が予測数より増加したため、27億2,521万円となり、予算比で2,932万円増加しました。
- 2) 手数料は、入学検定料において受験者数が予測数より増加したため、2,266万円となり、予算比で109万円増加しました。
- 3) 人件費は、期末業績賞与を支給したため、10億5,257万円となり、予算比で9,829万円増加しました。
- 4) 教育研究経費・管理経費は、東京校での校舎外壁工事が予算では修繕費で計上しておりましたが、建物として計上したことにより大きく減少しましたが、大阪校での学費回収不能分を雑費で計上したことなどにより一部で増加したため、合計14億7,660万円となり、予算比で7,035万円減少しました。

##### 《教育活動外収支》

教育活動外収入は1億192万円、予算比で645万円減少し、教育活動外支出はありませんでしたので、教育活動外収支差額は1億192万円となりました。

##### 《経常収支差額》

上述の結果、経常収支差額は3億4,417万円、予算比で145万円減少しました。

##### 《特別収支》

特別収入は819万円となり、予算比で181万円減少し、特別支出は565万円、予算比で565万円増加した結果、特別収支差額は254万円、予算比で746万円減少しました。

② 貸借対照表の状況

未収入金は、大阪校での2016年度以前の未納学費の回収および回収不能分を経費計上したため、4,687万円減少しました。前払金は、学生管理システムの入替え導入に伴い、前払いにてシステム構築費用を計上したため、4,105万円増加しました。

③ 収益事業の状況

ドミールCity東中野、ドミールCity東中野Ⅱ、コーケン関内ビルの3棟の賃貸事業に関わるものです。売上高は1億2,873万円、販売費及び一般管理費は6,786万円、営業外収益は30万円となりました。その結果、経常利益は6,117万円となりました。

(2) 主な財務比率比較

(%)

比率名	算式	2019年度	全国平均※2	比較した場合
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒納付金}}{\text{経常収入}}$	94.8	81.1	—
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	36.6	42.8	低い方が良い
教育研究・管理経費比率	$\frac{\text{教育研究(管理)経費}}{\text{事業活動収入}}$	51.4	48.9	高い方が良い
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産 ※1}}$	11.5	23.2	低い方が良い

※1 純資産＝基本金＋繰越収支差額

※2 2017年度数値（専修学校全国平均：「今日の私学財政」専修学校各種学校編参照）

(3) その他

特になし



## I. 事業の概要

2019年の訪日外国人観光客数は、訪日プロモーション、航空路線の新規就航や増便等による航空座席供給量の増加、ラグビーワールドカップ等の影響もあり、日韓情勢の影響等を受けた韓国を除く東南アジア諸国、欧米諸国で過去最高数を記録し、前年比2.2%増の3,188万人（日本政府観光局発表）に達しました。

このような環境下のもと、2019年度学生募集は昼間部生が堅調に増加し、夜間部生が減少しましたが、学園全体で前年と同等数を確保することができました。今後更に18歳人口が減少していく状況下において、本学園は引き続き教育改革、就職強化、経営体質の健全化、組織の運営強化を主な柱にして、ホスピタリティ業界のリーディングスクールとなるべくイノベーションを更に進めて学生募集に邁進してまいります。

複雑化・多様化する社会のニーズを的確に掴み、新たな価値を創造できる人材の育成に努め、役員・教職員全員の知恵と力を結集して、全校一丸募集体制、全校一丸教育体制、全校一丸進路就職体制を確立させ、観光と国際化を通じて21世紀の基幹産業と言われるホスピタリティ産業の将来を担う人材を育成する教育機関を目指してまいります。

## II. 継続事業

### 1) 教育

ホスピタリティ ツーリズム専門学校（東京/観光科、大阪/観光学科）と東京/大阪ブライダル専門学校は、「職業実践専門課程」に認定されており、教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会を通じて外部の業界専門家の意見も参考にしながら教育内容の見直しと充実化に努めました。東京校においては観光科以外の全学科も認定申請に向けて準備を進めてきました。

※職業実践専門課程とは、専修学校専門課程であって、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものを文部科学大臣が認定して推奨するものです。

### 2) 国際化の推進

「長期留学制度奨学金」61.8万円の利用で、年間学費は98万円にて米国シアトル校へ1年間長期留学できる制度を2012年度入学生から導入しています。2019年度長期留学では129名（2018年度133名）の学生を送り出すことが出来ました。この長期留学により、英語力・国際感覚の優れた学生を当学園からより多く輩出することを目指しています。現在、米国シアトルにある提携校3校で受入をしています。

また、訪日旅行の2分の1が中国語圏（中国・台湾・香港）からの観光客であることから、中国語を話せる人材の育成が求められています。その為、親日国として知られる台湾の国立台湾師範大学と提携して、2018年度入学生から米国シアトルと同様に年間学費98万円にて1年間留学できる「台湾留学コース」を設置して募集活動を

開始し、2019年度長期留学では4名の学生を送り出しました。

その他、今年度も教職員自らも国際的な視野を拡大することを目的に、教職員のサンフランシスコ・シアトル海外研修を実施しました。2012年度にスタートを切り、2019年度までで年に2回、計16回（延べ160名が参加）実施をしました。アメリカIT産業の先進地であるシリコンバレーも行程に含めて、教職員の国際化、イノベーション意識の醸成も更に進めております。

### 3) 施設の有効活用

本学園の施設跡地を活用した賃貸マンション「ドミールCity 東中野」、「ドミールCity 東中野Ⅱ」を外部業者への一括賃貸方式で運営し、事業用賃貸ビルとして取得した「コーケン関内ビル」を法人向けに賃貸をしております。

3棟での賃貸料による収益事業収入を安定確保することにより、学校経営の財政的基盤を強化して教育効果の向上に役立てることを目指しています。

## Ⅲ. 新規事業

### 1) 修学支援

文部科学省の「高等教育の修学支援新制度（通称：高等教育無償化制度）」の対象校として、本学園が設置する全学校（東京校2校、大阪校4校）が9月20日（金）に認定されました。

### 2) 全科タブレットの導入

現在、東京校の一部学科で導入しているタブレット教育は、東京校・大阪校でそれぞれ対象学科を順次拡大（シアトル・台湾留学中の学生も含む）し、今後の新型コロナウイルス感染の影響等も考慮して2021年度生より全学科に導入することを決定しました。現在、授業コンテンツ等の開発を進めています。

### 3) 学生管理システムの入替導入

現在、東京校、大阪校で独自に稼働している学生管理システムは、今後の合理的、効率的な運用に向けて統合することを2019年7月に決定し、2020年9月からの本格稼働を目指して、新しいシステムへの導入作業を進めています。

## 【ホスピタリティ ツーリズム専門学校】

### I. 事業の概要

グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は観光業界の将来にとって極めて重要であると考え、各科に特化した業界英語を強化しました。

更に、語学力向上や視野の拡大、異文化の受容性向上などグローバル化な舞台上で通用する能力を身に付ける為、海外インターンシップや海外研修旅行、企業実習を実施しました。

また、タブレット端末を用いたテキストなどの資料配信や授業動画、アプリによる反転授業を一部学科で試行的に導入し、ICT教育の促進による学習環境の向上を図りました。

就職対策でも、早期から就職対策や秘書検定対策の授業を実施するだけでなく、企業を招いて公開授業や成果発表を実施し、産学連携を強化しました。その結果、就職決定者は希望者就職 100%を達成しました。

### II. 継続事業

#### 1) 教育の実績

- 入学者全員に対し、1泊2日のホスピタリティ入学研修を学外で実施しました。今年度も各科ごとに行先を決めて1日目は社会人基礎力向上とコミュニケーション強化を主眼としたホスピタリティ研修を実施しました。2日目はそれぞれの業界見学を行い、入学前の憧れを現実の仕事として意識させ学ぶ意欲の向上を図りました。
- 昼夜間部1年生希望者を対象に国際感覚を身につけることを目的に海外研修旅行、(9/24～9/29)を実施しました。エアライン科は中東のドバイで、世界屈指の航空会社見学を通じて一流のサービスを体験するとともに、モスクやイスラム教徒の現地宅訪問など異文化理解も深めました。テーマパーク科はフロリダにあるウォルト・ディズニー・ワールド・リゾート研修を通じて本場のエンターテイメントを体感しました。
- ≪観光科≫昼間部2年生が、授業の一環で茨城県常陸太田市、山梨県甲州市の街おこしを主眼としたツアーを企画販売しました。両市の観光協会と中野区産業観光課、(株)農協観光と連携し、中野区報にてシニア向け日帰りバスツアー(常陸太田市：9/7、甲州市：11/3)を販売し、催行をいたしました。観光科代表学生が添乗員の補助としてツアーに参加し、産学連携および業務実習の観点から、大きな成果をあげることができました。
- ≪観光科≫昼間部1年生が、台湾への海外旅行企画を実施しました。グループ毎に台湾2泊3日の旅程を企画し、作成した行程をもとに募集用パンフレットを作成して商品発表プレゼンテーションを行いました。商品完成後は全員で台湾へ渡航し、企画した旅程を円滑に進めることができるかどうかを現地実証しました。帰国後は、現地での経験をもとに行程の刷新を行うとともに、台湾のPR動画を作成してプレ

ゼンテーションを行いました。企画・現地実習を経験する事で、机上での企画と実際の旅行の差異を経験する事ができました。

- 《ホテル科》2年生が、1月に「ホテル商品企画コンペティション」を実施しました。藤田観光㈱にご協力いただき、新規開業したホテルについて海外のお客様に対して認知を高め、“泊まりたい”と思ってもらうための広報戦略について企画、提案を行いました。企業担当者の方より、ホテル業界を取り巻く環境、新規開業した経緯、現状の課題について講義をしていただき、課題解決のための提案をグループごとに実施しました。クラス予選から選出された昼間部4チーム、夜間部1チームが、企業担当者に対しプレゼンテーションをコンペティション形式で審査し、表彰を実施しました。
- 《ホテル科》1年生全員が、6月に「ステイマナー研修」を実施しました。宿泊先である横浜ベイホテル東急にご協力いただき、1泊2日の滞在期間中、お客様としてではなく従業員として業務を実地研修しました。バックスペース見学、ベットメイク、テーブルマナー、宴会場の会場セッティングなどを実習しました。
- 《テーマパーク科》2年生が、都内だけでなく地方のテーマパーク実習を全員必須で実施しました。また、㈱クボタのラグビーチーム、富士通㈱のバスケットボールチームと連携し、年間を通してキャラクターパフォーマンスを実施しました。
- 《エアライン科》1年生が12月に成果発表としてホスピタリティスキルコンテスト（グランドスタッフと客室乗務員の対応力を競うコンテスト）を実施しました。全員が英語やクレーム対応を実施しました。航空業界の人事、現場の方も審査員として参加してくださり、客観的な評価をいただきました。企業へのサービス提案も実施し、高評価をいただきました。また、その内容が「月刊 AIRLINE」「トラベルジャーナル誌」にも掲載されました。
- 《英語コミュニケーション科》1・2年生が、成果発表としてスピーチコンテストを実施しました。審査員として、エアライン業界企業役員、大使館の方もご招待し、留学前と留学後のレベルアップの違いを感じていただき高評価をいただきました。
- 《鉄道科》1年生が、4月より鉄道会社6社のご協力をいただき、朝の通勤時の駅務補助を行う「駅実習」を全員必修で実施しています。12月には、成果発表として「駅STARTコンテスト」を実施しました。駅実習先の企業担当者を審査員として、駅実習での経験を振り返り、鉄道業に携わる上で必要となる心構えについて考え、5チームに分かれてお客様の接客対応事例を実演し、審査及び表彰を行いました。
- 《鉄道科》2年生が、(公財)東日本鉄道文化財団「鉄道博物館」のご協力のもと、「運転士シミュレータ講習」の団体受講を実施しました。2年次に学内受講する「鉄道業実務知識」科目の「鉄道乗務員(車掌・運転士)」の技能知識授業に対する成果として実施しました。鉄道博物館ではシミュレータ教室の貸し切りで、全員の学生が初日の「基本(初級)講習」と「中級講習」を2日間連続で受講して運転シミュレータ講習を修了しました。

### 【留学関連】（東京 2 校共通）

- シアトル留学から帰国した学生の TOEIC スコア平均は 630 点（渡航前 398 点）、スコアの伸び平均が 232 点でした。最高点は 915 点、留学前と比べた最高上昇点は 565 点でした。
- 台湾留学から帰国した学生 1 名が、中国語の HSK 検定 5 級（※6 級が最上位級）を取得しました。

### 2) 主な資格取得の実績

資格名称	2019 年合格者
手話技能検定 4 級	83 名
秘書技能検定 2 級	257 名
みんなの外国語検定 ゴールド	34 名
みんなの外国語検定 シルバー	48 名
みんなの外国語検定 ブロンズ	246 名
AXESS 実用検定国際 2 級	34 名
AXESS 実用検定国内 2 級	36 名
TOEIC 900 点以上	3 名
TOEIC 800 点以上	5 名
TOEIC 700 点以上	17 名
TOEIC 600 点以上	15 名
TOEIC 500 点以上	43 名
国内旅行業務取扱管理者	22 名
サービス介助士	152 名
ホテルビジネス実務検定ベーシック 2 級	64 名
レストランサービス技能検定 3 級（学科）	34 名
レストランサービス技能検定 3 級（実技）	31 名

### 3) 就職の実績

就職希望者数	259 名
就職決定者数	259 名
内 観光業界就職者	249 名
その他業界就職者	10 名

- 就職の早期化に対応するため、就職関連の授業を更に強化しました。昨年以上に企業講演や OB 業界人の講演を開催し、早くから就職に対する意識付けをしました。また、学生ごとに指導方法を変え、より個に特化した指導の強化に努めました。その結果、希望者就職 100%と希望者全員が就職内定を獲得しました。
- 昼夜間部 1 年生に対し、12 月に「就職セミナー」を行い、就職筆記試験対策模試と

模擬面接を実施しました。模擬面接は、志望する企業における採用時期に合わせて学生の編成を行い、実施をしました。

- 産学連携の一環として、昨年同様、観光科とホテル科では、公開授業と題し、企業の人事の方（観光科 19 社/32 名、ホテル科 16 社/23 名）をお招きして、実際の授業を見学して普段の学生を見ていただく機会を設けました。面接では分からない生の姿を見てもらうことで、企業側にも学生側にも両方にメリットがある機会となりました。

**【海外インターンシップ関連】**

- グローバル化戦略の1つとして海外就職・インターンシップにも力を入れ、留学帰国生を中心に東京校では8名（学園全体では13名/短期を含めると28名）が海外インターンを決めました。

※インターンシップ先

米国三越（米国）、Star Cruise（香港）、Hotel Ullensvang（ノルウェー）、ホテルオークラアムステルダム（オランダ）、S.M.I holding バリ支店（インドネシア）、MSC Cruise、Lotte hotel Guam（米国）、ワタベウエディング（米国）、Marina Café（パラオ）、H. I. S. バンクーバー支店（カナダ）

4) 2020 年度生学生募集活動

学 科	入学定員	入学生	充足率
昼間部観光科	40 名	43 名	107.5%
昼間部ホテル科	60 名	60 名	100.0%
昼間部テーマパーク科	60 名	56 名	93.3%
昼間部総合英語科	20 名	23 名	115.0%
昼間部鉄道科	40 名	42 名	105.0%
昼間部エアライン科	80 名	124 名	155.0%
昼間部小計	300 名	348 名	116.0%
夜間部テーマパーク科	20 名	17 名	85.0%
夜間部小計	20 名	17 名	85.0%
合計	320 名	365 名	114.1%

5) 2019 年度在籍者奨学金の状況

**【2019 年度入学者に対する奨学金】（東京ブラダル専門学校との合算数字）**

- ① 特待生制度 ※対象者：22 名  
筆記試験とグループ面接の結果に応じて支給される奨学金制度
- ② A0 選抜生制度 ※対象者：30 名  
A0 合格者がプレゼンテーションの結果で支給される奨学金制度
- ③ 英語資格取得奨学金制度 ※対象者：70 名  
英語の資格取得に応じて支給される奨学金制度

【シアトル・台湾留学制度生に対する奨学金】

長期留学制度奨学金※対象者：41名

1年次の出席率等、一定の条件をクリアした留学制度生に対して留学中に適用される奨学金

【外国人留学生に対する奨学金】

特待生制度：1年次対象者1名

私費外国人留学生学習奨励費：1年次対象者27名、2年次対象者20名

日本語能力検定1級資格取得奨学金：1年次対象者10名、2年次対象者6名

6) その他

- 昼間部グランドハンドリング科1年生が、国際航空貨物取扱士検定において国内受験者の中で最高得点を取りました。この資格は国際航空貨物輸送に携わる人の知識やスキルを測り、世界基準に照らして認定される国際資格であり、すべて英語で出題される難関試験です。
- 学生・教員用パソコンの入れ替え購入等により、私立専修学校教育環境整備費助成事業の「教育設備装置整備助成金」として4,601千円を受給することができました。
- 自己点検・自己評価の実施により、「私立専修学校教育環境整備費補助金（専修学校評価促進）」として、200千円を受給することができました。

## 【東京ブライダル専門学校】

### I. 事業の概要

2年間で「成果発表課題解決型学習」を通じて、人間力とコーディネートスキルの習得を目指しました。また、ホスピタリティ ツーリズム専門学校同様、英語、手話検定対策、秘書検定対策の授業を1年生に導入しグローバル化、コミュニケーション能力の強化をしました。また、昨年引き続き、企業の人事担当者をお招きした交流会を本校内で実施し、求人の安定確保に努めました。その結果、就職決定者は希望者就職100%を達成しました。

### II. 継続事業

#### 1) 教育の実績

- 成果発表「模擬人前挙式（1年生）」「バーチャルウェディング（1年生）」「セールススキルコンテスト（2年生）」「リアルウェディング（2年生）」を実施しました。リアルウェディングをクラス別に3件、本校施設を使用して実施しました。実際の婚礼を企画実施し、成功をおさめたことにより、学生の更なる意欲向上に繋がりました。
- 昼夜間部1年生希望者を対象に海外研修旅行（9/24～9/29 ハワイ4泊6日）を実施しました。今年度の参加者は78名（在籍数120名 参加率65%）でした。日系ブライダル企業のご協力を得て現地チャペル見学を実施し、海外挙式についての理解を深めました。

#### 2) 資格取得の実績

資格名称	2019年合格者
ブライダルコーディネーター技能検定3級	92名
フォーマルスペシャリスト検定準2級	14名
AFS フラワースタylist検定	84名
色彩活用パーソナルカラー検定3級	92名
手話技能検定5級	105名
秘書技能検定2級	29名
みんなの外国語検定 ブロンズ	79名

#### 3) 就職の実績

就職希望者数	107名
就職決定者数	107名
内ブライダル業界関連就職者	101名
その他業界就職者	6名

- 就職の早期化に対応するため、就職関連の授業を更に強化しました。昨年以上に企業講演やOB 業界人の講演を開催し、早くから就職に対する意識付けをしました。



また、学生ごとに指導方法を変え、より個に特化した指導の強化に努めました。

- 昼夜間部1年生に対し、12月に「就職セミナー」を行い、就職筆記試験対策模試と模擬面接を実施しました。模擬面接は、志望する企業における採用時期に合わせて学生の編成を行い実施をしました。
- 毎年恒例行事として開催する就職対象企業向けの人財活用セミナーを10月に開催しました。24社39名の人事の方にお越しいただき、今年度は「ブライダル業界における働き方改革について」をテーマに各企業様とフォーラムディスカッションを行うとともに、セミナー後は懇親会を実施して情報交換を行い、企業様とのパイプの強化を図り求人安定確保に努めました。

#### 4) 2020年度生学生募集活動

学 科	入学定員	入学生	充足率
昼間部ブライダル科	120名	134名	111.7%
夜間部ブライダル科	20名	10名	50.0%
合計	140名	144名	102.9%

#### 5) 2019年度在籍者奨学金の状況

##### 【2019年度入学者に対する奨学金】

ホスピタリティ ツーリズム専門学校に合算

##### 【シアトル・台湾留学制度生に対する奨学金】

長期留学制度奨学金※対象者：5名

1年次の出席率等、一定の条件をクリアした留学制度生に対して留学中に適用される奨学金

#### 6) その他

- 11/20(水)八芳園にて卒業生を対象に同窓会を実施し、44名の卒業生が参加しました。
- 自己点検・自己評価の実施により、「私立専修学校教育環境整備費補助金(専修学校評価促進)」として、200千円を受給することができました。

## 【ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪】

### I. 事業の概要

今年度も職業教育と人間教育を柱としたカリキュラムを提供し、職業観の育成と就職対策を強化しました。職業教育では、全科で企業の協力を得て産学連携プログラムを実施し、業界インターンシップと国内又は海外の研修旅行も必須科目として実施しました。また、職種の専門知識を集中的に学ぶ職種別コース（大阪4校で共通、全20コースの中から週2コマ）、就職に有利な資格試験の傾向と対策を学ぶ資格対策授業をそれぞれ全科で設定し、学生自らが選択して主体的に学ぶ力を育成しています。その結果、就職・進路決定率は100%となりました。

人間教育としては、コミュニケーション力・表現力を高めてホスピタリティを実践するための教育プログラムを教員チームで開発し、授業に導入しました。また、集合研修や相互授業参観を行うことで講師の育成にも努めました。

### II. 継続事業

#### 1) 教育の実績

##### 〔企業との連携〕

企業連携、企業提供による講義や研修等の実施に力を入れており、即戦力育成のためのカリキュラムを実践できました。

- ㈱NOEとの産学連携により、学生企画による旅行商品の企画・提案・プレゼン・現地視察（台湾）・パンフレット作成を共同で行いました。この企画は、「台湾2泊3日間」として商品化、実際に店頭販売されました。（旅行科）
- バリアフリーツーリズムについて、京都でリフトバス乗降や車椅子実習、視覚障害者体験を実施しました。（旅行科）
- トルコ大使館とタイアップし、学内で観光セミナーを開催しました。（旅行科）
- 地域活性化演習として、㈱農協観光とタイアップし「子ども夏休みツアー」を企画し広島県世羅町において視察・プレゼンを体験しました。（旅行科）
- ㈱JAL スカイなど8社をお招きし、スキルコンテストを開催しました。（エアライン科）
- ㈱JAL グランドサービス大阪のご協力により、伊丹空港でターミナルランプ・格納庫・CA モックアップを見学しました。（エアライン科）
- 大阪市高速電気軌道㈱の「Osaka Metro フェスティバル」において、2ブース（鉄道ストラックアウト、鉄道クイズ）の企画運営を実施しました。（鉄道サービス科）
- 「業界事情」の授業内で、「インバウンドサービスについて考える」というテーマで学生によるプレゼンテーションを行い、審査員として大阪市高速電気軌道㈱の方にお越し頂きました。（鉄道サービス科）
- 四国旅客鉄道㈱、高松琴平電気鉄道㈱、筑豊電鉄㈱、九州旅客鉄道㈱、大阪市高速電気軌道㈱各社のご協力により、講話受講、運転体験、車両見学、営業所見学、駅見学を実施しました。（鉄道サービス科）
- （一財）海外産業人材育成協会関西研修センターにて日本文化を伝える「JAPAN PARTY」を企画運営し、200名の外国人研修生に参加頂きました。（英語コミュニケーション科）

〔留学関連〕（大阪4校共通）

- シアトル留学から帰国した学生のTOEICスコア平均は589点（渡航前332点）、スコアの伸び平均が257点でした。最高点は910点、留学前と比べた最高上昇点は660点でした。
- 台湾留学から帰国した学生1名が、中国語検定2級（※1級が最上位級）を取得しました。

〔地域貢献〕

- 地域活性をテーマに、以下の地方自治体と産官学連携を実施し、旅行プラン等各種の観光客誘致策を提案し、企画プレゼンテーションを行いました。（旅行科）  
 広島県 鳥取県 和歌山県  
 鳥取県においては、学生が旅行パンフレットを作成し、募集・催行・添乗までを行い18名の集客がありました。

〔上記以外の取り組み〕

- キンダーキッズインターナショナルスクールにて英語劇を発表。子供約100名が参加し、観光業界を知ってもらう良い機会となりました。当校の学生にとっても子供への対応方法を学ぶ貴重な経験となり将来の視野が広まりました。（英語コミュニケーション科）

2) 資格取得の実績

資格名称	2019年合格者
総合旅行業務取扱管理者	10名
国内旅行業務取扱管理者	30名
ビジネス能力検定ジョブパス2級	6名
ビジネス能力検定ジョブパス3級	103名
アマデウスシステム検定初級	60名
マナー・プロトコール検定3級	33名
A X E S S 実用検定国際2級	57名
A X E S S 実用検定国際3級	1名
A X E S S 実用検定国内2級	69名
旅行地理検定海外3級	3名
秘書技能検定2級	27名
サービス接客検定2級	10名
みんなの外国語検定 ブロンズ	3名
インバウンド接客外国語検定（中国語飲食）	5名
インフィニ検定	25名
サービス介助士	19名
硬筆書写検定3級	10名

TOEIC 800 点以上	1 名
TOEIC 700 点以上	6 名
TOEIC 600 点以上	6 名
TOEIC 500 点以上	9 名

### 3) 就職の実績

就職希望者数	108 名
就職決定者数	108 名
内 観光業界関連就職者	93 名
その他業界就職者	15 名

### 4) 2020 年度生学生募集活動

学 科	入学定員	入学生	充足率
昼間部観光学科	100 名	75 名	75.0%
夜間部観光学科	40 名	15 名	37.5%
合 計	140 名	90 名	64.3%

### 5) 2019 年度在籍者奨学金の状況

#### 【2019 年度入学者に対する奨学金】

- ① 特待生制度：対象者：17 名  
筆記試験とグループ面接の結果に応じて支給される奨学金
- ② 指定校推薦入学選考：対象者：16 名  
指定高校からの入学推薦者に対する奨学金
- ③ AO入学選考：対象者 67 名  
同選考を受験した入学生に対する奨学金
- ④ ポイントカード奨学金：対象者：97 名  
入学前の学校見学にて付与されるポイントに応じて支給される奨学金
- ⑤ 英語資格取得奨学金制度：対象者 26 名  
英語の資格取得に応じて支給される奨学金
- ⑥ 家族推薦奨学金：対象者：9 名  
入学生の家族が、本校の在校生・卒業生の場合に適用される奨学金
- ⑦ 沖縄在住者入学優遇制度：対象者 3 名  
沖縄・奄美群島在住者に支給される奨学金

#### 【2019 年度 2 年次生に対する奨学金】

ライセンス奨学金対象者：51 名

資格の取得数、難易度に応じてポイントが加算され、規定以上のポイントを取得した学生に適用される奨学金

【シアトル・台湾留学制度生に対する奨学金】

長期留学制度奨学金：対象者：31名

1年次の出席率等、一定の条件をクリアした留学制度生に対して留学中に適用される奨学金

【外国人留学生に対する奨学金】

特待生制度：1年次対象者4名

指定校推薦入学選考：1年次対象者2名

日本語資格取得奨学金：1年次対象者6名

私費外国人留学生学習奨励金：1年次対象者7名、2年次対象者7名

ポイントカード奨学金：対象者：4名

6) その他

- 2019年度は、旅行科及び鉄道科の企業実習が大阪府私立専修学校専門課程質保証・向上補助金の対象として認定され、補助金1,330千円を受給することができました。
- 学生用パソコンの入れ替え購入により、私立大学等研究設備整備費等補助金として、3,069千円を受給することができました。
- 旅行科生が、JATA（日本旅行業協会）主催の「関西空港発 学生と旅行会社で作る海外旅行コンテスト」においてグランプリを受賞しました。受賞作品「失恋博物館へ思い出を捨てに行こう！ クロアチア・スロベニアのクリスマスを楽しむ失恋女子旅7日間」。

## 【大阪ブライダル専門学校】

### I. 事業の概要

ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪同様に、職業教育と人間教育を柱としたカリキュラムを提供し、職業観の育成と就職対策を強化しました。職業教育では、企業の協力を得て産学連携プログラムを実施し、業界インターンシップと国内又は海外の研修旅行も必須科目として実施しました。また、職種の専門知識を集中的に学ぶ職種別コース（大阪4校で共通、全20コースの中から週2コマ）、就職に有利な資格試験の傾向と対策を学ぶ資格対策授業を全科で設定し、学生自らが選択して主体的に学ぶ力を育成しています。その結果、就職・進路決定率は100%となりました。

人間教育としては、コミュニケーション力・表現力を高めてホスピタリティを実践するための教育プログラムを教員チームで開発し、授業に導入しました。また、集合研修や相互授業参観を行うことで講師の育成にも努めました。

### II. 継続事業

#### 1) 教育の実績

##### 〔企業等との連携〕

昨年度に引き続き、企業連携、提供による講義や研修等の実施に力を入れており、即戦力育成のためのカリキュラムを実践できました。

- 大阪市内の婚礼施設（太閤園）とのコラボレーションとして、ブライダルフェアを企画・提案しました。7チームから発表し、1案が採用されました。
- I K K(株)との産学連携により、ウェディングプランナー科学生による「結婚式の新たな演出」、ドレス科学生による「運命の1着」を考案し提案しました。先様4名の方が審査員としてお越しいただき、総評を頂戴しました。
- 2年間の集大成として、NOBEL SHINSAIBASHIにて「ブライダル発表会」を実施しました。ブライダル企業の方53名にご参加いただきました。  
「ブライダルのスマホ活用方法」「令和婚」のテーマで企画・プレゼンテーションを行い、学内選抜を通過した5チームが本選で発表しました。  
また、コスチュームショーでは12着のドレスを発表し、ご投票頂きました。

##### 〔上記以外の取り組み〕

- 2019年度は、1組の挙式をリアルウェディング（学校施設等を利用し、学生プロデューサーにより執り行われる挙式）として企画・運営しました。ケータリング会社の料理を提供し「学内挙式+学内披露宴」を実施しました。

#### 2) 資格取得の実績

資格名称	2019年合格者
ビジネス能力検定2級	1名
ビジネス能力検定3級	83名
秘書技能検定2級	4名

ユニバーサルマナー検定3級	51名
マナー・プロトコール検定3級	1名
認定ウェディングプランナー	36名
認定ドレスコーディネーター	39名
フォーマルスペシャリスト	59名
ブライダルコーディネート技能検定3級	138名
着付け師3級	20名
インバウンド接客外国語検定(ブライダル)	3名
硬筆書写検定3級	6名
TOEIC 700点以上	1名
TOEIC 600点以上	1名

### 3) 就職の実績

就職希望者数	94名
就職決定者数	94名
内 ブライダル業界関連就職者	90名
その他業界就職者	4名

### 4) 2020年度生学生募集活動

学 科	入学定員	入学生	充足率
昼間部ブライダル学科	80名	70名	87.5%
夜間部ブライダル学科	50名	24名	48.0%
合 計	130名	94名	72.3%

### 5) 2019年度在籍者奨学金の状況

#### 【2019年度入学者に対する奨学金】

- ① 特待生制度：対象者：20名  
筆記試験とグループ面接の結果に応じて支給される奨学金
- ② 指定校推薦入学選考：対象者：11名  
指定高校からの入学推薦者に対する奨学金
- ③ AO入学選考：対象者73名  
同選考を受験した入学生に対する奨学金
- ④ ポイントカード奨学金：対象者：79名  
入学前の学校見学にて付与されるポイントに応じて支給される奨学金
- ⑤ 英語資格取得奨学金制度：対象者：11名  
英語の資格取得に応じて支給される奨学金
- ⑥ 家族推薦奨学金：対象者：5名  
入学生の家族が、本校の在校生・卒業生の場合に適用される奨学金

**【2019年度2年次生に対する奨学金】**

ライセンス奨学金対象者：21名

資格の取得数、難易度に応じてポイントが加算され、規定以上のポイントを取得した学生に適用される奨学金

**【シアトル・台湾留学制度生に対する奨学金】**

長期留学制度奨学金：対象者：13名

1年次の出席率等、一定の条件をクリアした留学制度生に対して留学中に適用される奨学金

**【外国人留学生に対する奨学金】**

日本語資格取得奨学金：2年次対象者1名

私費外国人留学生学習奨励金：2年次対象者1名

6) その他

- 2019年度は企業実習が大阪府私立専修学校専門課程質保証・向上補助金の対象として認定され、補助金1,110千円を受給することができました。



## 【大阪ホテル専門学校】

### I. 事業の概要

大阪ホテル専門学校は、ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪のホテル科が独立して2018年度に開校しました。「究極のおもてなしのプロの養成を目指して」をコンセプトに、実践教育と人間教育を展開しました。

宿泊部門の教育は多くのホテルで導入されているオペラ端末を使用して宿泊予約の流れを理解し、料飲部門の教育は接客・接遇コンテストで切磋琢磨してスキルを学び、英語部門の教育はホテルで導入されているオンラインレッスンを導入して、どのようなホテルエになるかという英語プレゼンテーションを実施しています。

「日常生活から素敵な人に」をコンセプトに、笑顔・挨拶・前向きな姿を実践してお客様を感動させるプロの育成に努めています。その結果、日本全国のホテル及び海外の有名ホテルへも多くの卒業生を輩出することができ、就職・進学決定率は100%となりました。

### II. 継続事業

#### 1) 教育の実績

〔企業との連携〕

企業連携、企業提供による講義や研修等の実施に力を入れており、即戦力育成のためのカリキュラムを実践できました。

- ホテルオークラ神戸にて、1泊2日のホテルマナー研修を実施し、業界人（卒業生）講演、施設見学、ベッドメイク講習、テーブルマナー講習、宴会研修等を行いました。  
ベッドメイク講習後は、学生自身のベッドをメイキングし、現場のプロに全てチェックを受け、個別に評価をして頂きました。
- コンラッド大阪とのコラボレーションで、学生企画による22チームが宿泊飲料プランのプレゼンテーションを実施しました。支配人および人事部の方よりマーケティング&商品企画の講習を受けると共にプレゼンを審査頂き、優秀企画を選出しました。「家族に感謝プラン」がグランプリに選ばれました。
- インターコンチネンタルホテル大阪とのコラボレーション授業において、学生が「アニバーサリー/サプライズパッケージプラン」を提案しました。コンシェルジュの方々に審査頂き、1チームが優良賞に選出されました。
- ホテル阪急インターナショナルとのコラボレーション企画として、学生が「大阪の観光プラン」を提案しました。実際に採用して頂ける「優良プラン」に選出されました。
- ハイアットリージェンシー箱根リゾート&スパのご協力で、人事講演と館内見学を実施しました。
- コンラッド東京のご協力で、卒業生からのホテル説明と館内見学を実施しました。
- ホテルインターコンチネンタル東京ベイのご協力で、人事講演及び館内見学を実施しました。

2) 資格取得の実績

資格名称	2019年合格者
ホテルビジネス実務検定ベーシック1級	5名
ホテルビジネス実務検定ベーシック2級	100名
レストランサービス技能検定	60名
ビジネス能力検定ジョブパス2級	2名
ビジネス能力検定ジョブパス3級	95名
サービス接客検定準1級	4名
サービス接客検定2級	65名
和食検定(初級レベル)	4名
マナー・プロトコール検定3級	85名
秘書技能検定2級	6名
みんなの外国語検定 ブロンズ	6名
インバウンド接客外国語検定(英語飲食)	49名
インバウンド接客外国語検定(中国語飲食)	16名
TOEIC 600点以上	3名
TOEIC 500点以上	4名

3) 就職の実績

就職希望者数	122名
就職決定者数	122名
内 ホテル業界関連就職者	120名
その他業界就職者	2名

4) 2020年度生学生募集活動

学 科	入学定員	入学生	充足率
昼間部ホテル学科	90名	161名	178.9%
夜間部ホテル学科	60名	52名	86.7%
合 計	150名	213名	142.0%

5) 2019年度在籍者奨学金の状況

【2019年度入学者に対する奨学金】

- ① 特待生制度：対象者：31名  
筆記試験とグループ面接の結果に応じて支給される奨学金
- ② 指定校推薦入学選考：対象者：17名  
指定高校からの入学推薦者に対する奨学金

- ③ AO入学選考：対象者 73 名  
同選考を受験した入学生に対する奨学金
- ④ ポイントカード奨学金：対象者：96 名  
入学前の学校見学にて付与されるポイントに応じて支給される奨学金
- ④ 英語資格取得奨学金制度：対象者 21 名  
英語の資格取得に応じて支給される奨学金
- ⑥ 家族推薦奨学金：対象者： 12 名  
入学生の家族が、本校の在校生・卒業生の場合に適用される奨学金
- ⑦ 沖縄在住者入学優遇制度：対象者 1 名  
沖縄・奄美群島在住者に支給される奨学金

**【2019 年度 2 年次生に対する奨学金】**

ライセンス奨学金対象者：63 名

資格の取得数、難易度に応じてポイントが加算され、規定以上のポイントを取得した学生に適用される奨学金

**【シアトル・台湾留学制度生に対する奨学金】**

長期留学制度奨学金：対象者：36 名

1 年次の出席率等、一定の条件をクリアした留学制度生に対して留学中に適用される奨学金

**【外国人留学生に対する奨学金】**

指定校推薦入学選考：1 年次対象者 25 名

日本語資格取得奨学金：1 年次対象者 19 名、2 年次対象者 11 名

私費外国人留学生学習奨励費：1 年次対象者 48 名、2 年次対象者 29 名

## 【大阪テーマパーク・ダンス専門学校】

### I. 事業の概要

大阪テーマパーク・ダンス専門学校は、ホスピタリティ ツーリズム専門学校大阪のテーマパーク科が独立して2018年度に開校しました。「テーマパークのプロになれる！日本初の専門学校！！」をコンセプトに、実践教育と人間教育を展開しました。

テーマパークで誇りを持って就業すべく、老若男女を笑顔にする表現力、相手の気持ちを汲み取り適切に対応する接客力、チーム行動の協調性を育むカリキュラムを設定して、ダンス専門実習室や演劇を披露できる舞台を備え、その成果発表として芝居やダンスの発表会を学内外で開催しました。その結果、ダンスエンターテイナー科は、卒業生全員が厳しい競争を勝ち抜いてエンターテイナーとして進路が決定するなど、就職・進学決定率は100%となりました。

### II. 継続事業

#### 1) 教育の実績

##### 〔企業との連携〕

企業連携、企業提供による講義や研修等の実施に力を入れており、即戦力育成のためのカリキュラムを実践できました。

- 神戸アンパンマンミュージアム、キッザニア甲子園、阪神総合レジャー、モビリティランド（鈴鹿サーキット）、レゴランドジャパンの施設見学会を実施し、人事担当者やOBによる会社説明会を開催しました。
- モビリティランド（鈴鹿サーキット）とタイアップし、のエンターテイメントショーに出演しました。
- キッザニア甲子園とタイアップし、「パビリオン作成」企画を行いました。
- キンダーキッズインターナショナルスクールにて英語劇を発表し、子供約100名が参加し、観光業界を知ってもらう良い機会となりました。当校の学生にとっても子供への対応方法を学ぶ貴重な経験となり、将来の視野が広まりました。

##### 〔地域貢献〕

- イオン茨木で成果発表会を行い、2日間で280名のお客様に喜んで頂きました。

##### 〔上記以外の取り組み〕

- 日本写真映像専門学校とタイアップし、関西小劇場の舞台にダンサーとして出演しました。

#### 2) 資格取得の実績

資格名称	2019年合格者
全国手話検定3級	4名
全国手話検定4級	7名

全国手話検定 5 級	91 名
ビジネス能力検定ジョブパス 3 級	85 名
マナー・プロトコール検定 3 級	4 名
秘書技能検定 2 級	2 名
硬筆書写検定 3 級	3 名
みんなの外国語検定 ブロンズ	1 名
TOEIC 500 点以上	2 名

### 3) 就職の実績

就職希望者数	85 名
就職決定者数	85 名
内 テーマパーク業界関連就職者	80 名
その他業界就職者	5 名

### 4) 2020 年度生学生募集活動

学 科	入学定員	入学生	充足率
昼間部テーマパーク学科	80 名	63 名	78.8%
夜間部テーマパーク学科	40 名	27 名	67.5%
合 計	120 名	90 名	75.0%

### 5) 2019 年度在籍者奨学金の状況

#### 【2019 年度入学者に対する奨学金】

- ① 特待生制度：対象者：10 名  
筆記試験とグループ面接の結果に応じて支給される奨学金
- ② 指定校推薦入学選考：対象者：10 名  
指定高校からの入学推薦者に対する奨学金
- ③ AO 入学選考：対象者 89 名  
同選考を受験した入学生に対する奨学金
- ④ ポイントカード奨学金：対象者：103 名  
入学前の学校見学にて付与されるポイントに応じて支給される奨学金
- ⑤ 英語資格取得奨学金制度：対象者：13 名  
英語の資格取得に応じて支給される奨学金
- ⑥ 家族推薦奨学金：対象者：3 名  
入学生の家族が、本校の在校生・卒業生の場合に適用される奨学金

**【2019年度2年次生に対する奨学金】**

ライセンス奨学金対象者：10名

資格の取得数、難易度に応じてポイントが加算され、規定以上のポイントを取得した学生に適用される奨学金

**【シアトル・台湾留学制度生に対する奨学金】**

長期留学制度奨学金：対象者：6名

1年次の出席率等、一定の条件をクリアした留学制度生に対して留学中に適用される奨学金

以上